

村田高校総合学科通信

soramame



宮城県村田高等学校
宮城県柴田郡村田町大字金谷1
<http://murata-h.myswan.ne.jp>
第1号 2025. 7. 19

生活に活気・学習に意欲・行動に責任

創立大正13年
MURATA
SINCE1924

令和7年度入学式

4月8日(火)、令和7年度の入学式が厳粛な雰囲気の中、挙行されました。今年度は、35名の新生を迎えました。入学生代表の宣誓では、1年2組の佐藤優聖さんが、これからの高校生活に向けた抱負を力強く述べました。1年生の皆さんには早く村高のことを知ってもらおうとともに、新しい目標を見つけ、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

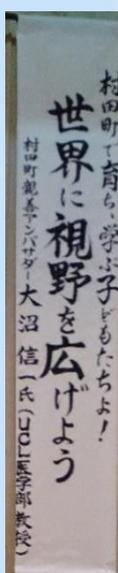


教育講演会 祝全国大会出場(玉手)

村田町政施行130周年・町村合併70周年記念事業
令和7年度 村田町 教育講演会



ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン
ン医学部教授、眼下研究所副所長
村田町親善アンバサダー



講師：大沼 信一 先生

4月25日(金)村田町民体育館：「世界に視野をひろげよう」というテーマで大沼信一先生の講演会に村田町の小学生・中学生とともに全校で参加。世界で活躍する村田出身の大沼先生の話に目を輝かせて聞いていた。「世の中、新しい世界が生まれてくる場所が大学。自分が何かしたいことかあったら、そういうことをやっている大学に行けば、何か新しいことに関与できるかもしれない」。生徒の感想は「グローバルな視点で視野を広げられたことは、すごくうれしかった」「自分も世界に、この町に役立つようなことをしていきたいと思った」などがあつた。

男子個人形 優勝(6月6日)会場：角田市総合体育館
玉手蒼輝君(3年・北角田中出身)は、8月に岡山県倉敷市で行われる全国高校総体に宮城県代表で出場します。競技に臨む姿勢・態度は他の模範となる立派なものでした。【顧問：大宮】

玉手君は、入学時から課題にしてきたパワーをつけるためのウエイトトレーニングに重点を置き3年間取り組んできました。その結果、体重を20キログラム増加させることができ、パワーアップすることができました。心・技・体ともに最高に仕上げることができたのでインターハイにむけて体調管理に務め、3年間してきたことを信じ、最高の形にしたいと思います。応援よろしくお願ひします。



学校評議委員会

6月23日(月)本校会議室において第1回学校評議委員会が開催された。校長より学校経営方針等についての説明と本校職員より今年度の取り組み概要の説明を行った。学校評議員より様々な助言と魅力づくりに向けた取り組みのサポートやバックアップ、地域の人との連携についてご意見をいただき、活発な意見交換会が行われた。



- 平 間 敏 郎 (元仙台市教育局学校教育課長)
 - 三 浦 純 (村田町教育委員会生涯学習課長)
 - 菅 原 英 二 (村田町立村田第一中学校長)
 - 佐々木 和 人 (本校PTA会長)
 - 佐 藤 隆 法 (合同会社菅生ファーム代表社員)
- (順不同・敬称略)

新年度スタートから

早くも3ヶ月



高校総体に出場する選手たち

今年度は1年生35名、2年生56名、3年生59名、全生徒数150名でのスタートとなりました。1年生も、今ではすっかり村高での生活に慣れ、毎日楽しそうに過ごす姿が見られています。

この3ヶ月間は様々な行事が実施されました。特に県南支部総体では、日頃の練習の成果を発揮できるよう、どの部も熱戦を繰り広げました。部によっては、1年生も先輩たちとともに県大会の切符をかけた戦いに挑んでおり、勝ったときの喜び顔や負けたときの悔し涙を流す姿がとても印象的でした。そして、6月初旬に行われた県総体当日も、気持ちのこもった戦いだったことを顧問より聞いています。また、中旬には、令和7年度最初の定期考査がありました。特に1年生においては、新しい科目のテストということもあり、緊張感も大きかったかもしれません。このほかにも、4系列のそれぞれの特色ある学びに積極的に取り組んだ生徒もいます。たくさんの活躍が見られた3か月でした。今後とも、よろしくお願いいたします。

この3ヶ月間は様々な行事が実施されました。特に県南支部総体では、日頃の練習の成果を発揮できるよう、どの部も熱戦を繰り広げました。部によっては、1年生も先輩たちとともに県大会の切符をかけた戦いに挑んでおり、勝ったときの喜び顔や負けたときの悔し涙を流す姿がとても印象的でした。そして、6月初旬に行われた県総体当日も、気持ちのこもった戦いだったことを顧問より聞いています。また、中旬には、令和7年度最初の定期考査がありました。特に1年生においては、新しい科目のテストということもあり、緊張感も大きかったかもしれません。このほかにも、4系列のそれぞれの特色ある学びに積極的に取り組んだ生徒もいます。たくさんの活躍が見られた3か月でした。今後とも、よろしくお願いいたします。

言語・自然科学系列



機械自動車系列

山形大学合格（6年度卒）

文部科学省のDXハイスクール、及び県の「教育DX推進プロジェクト事業」の指定を受け、本吉響・伊具・村田の3校でリモートによる同時双方向授業を、科目選択の充実を図り、生徒の学びの選択肢を維持・発展させる目的で実施。今年度は「物理基礎」を履修した生徒が伊具高校の先生の授業をリモートで受講しています。



2・3年次を対象に、労働安全コンサルタント事務所の鈴木先生を招き、実習場の環境改善と実習作業の効率化を目的に5S研修（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を行いました。この5つの要素を実践することで、より良い作業環境を作り、作業の質を高めることができます。2年次は、事例を基に作業中の災害を未然に防止するための方法を学び、ものづくりにおける5Sの大切さについて理解を深めました。3年次は、実習場の5S点検、安全衛生点検のやり方を学び、理解を深めました。実習室の環境改善のため、課題研究の授業で、照明を蛍光灯から明るくて消費電力の少ないLEDへ交換する作業を行っています。

2・3年次を対象に、労働安全コンサルタント事務所の鈴木先生を招き、実習場の環境改善と実習作業の効率化を目的に5S研修（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を行いました。この5つの要素を実践することで、より良い作業環境を作り、作業の質を高めることができます。



介護福祉系列

商業実践系列

社会に出て、すぐに役立つ実務的な知識やスキルの習得を目指しておりますが、6月29日（日）全商ビジネス文書検定が行われ受験した生徒全員合格しました。合格率100%達成！！今後も様々な検定試験が行われますので果敢にチャレンジしてください。資格は一生の財産です。



3年次を対象に障害者支援施設の機能と役割、重度身体障害のある方の生活、施設で従事する職種について理解することを目的に、村田町の障害者支援施設「ふぼう」の施設を訪問し、施設内



や特別浴槽の見学、車椅子の操作や移動用リフトの操作・体験、施設の説明を受けてきました。2年次では、生活支援技術という科目で技術面での授業を行っています。「しわの無いベッドメイキングができる」と、生徒はとても喜んでいました。また、ペアに分かれ相手に触れる勉強も始まっています。どのように相手に触れると不快にならないか。また、その際の声かけの仕方やポイント、注意点などを学んでいます。今後は着脱介助について勉強していく予定です。



挨拶運動

定期的に生徒会による朝の挨拶運動が実施されます。マナーアップの充実を図ることを目的に実施されたこの運動も定着しており、生徒同士が互いに挨拶を通してコミュニケーションを図っています。遅刻ぎりぎりの生徒を見ながら、“社会人マナー”して時間を守ることの大切さも伝えようとしています。この自治力が学校をより良い方向へ向かわせます。

